

国宝瑞巖寺本堂 (瑞巖寺HPより)



宮城県慶長使節船ミュージアム サン・ファン館 館長

ひらかわ あらた
平川 新

未来への航路

塩竈から瑞巖寺へ

メキシコ大使のビスカイノが、スペイン船の寄港地を探すために仙台領沿岸を探検しました。その様子を『金銀島探検報告』から追ってみましょう。

最初の調査地は塩竈でした。1611年12月15日に塩竈で宿を取ったあと、塩竈湾や松島湾を視察しています。どこかの浜のことかわかりませんが、小さな船の港としてはよいが、スペイン船の寄港には向いていないとあり

ます。松島では瑞巖寺を見学しました。ガルシアのサンティアゴがエルサレムのように、大勢の人が巡礼に来ていると驚いています。スペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラは

キリスト教の聖地で、サンティアゴ巡礼の道として知られています。

エルサレムはイスラエルにあります。ユタヤ教、キリスト教、イスラム教の聖地とされています。瑞巖寺はヨーロッパの有名な寺院や聖地のような場所だということです。

瑞巖寺は戦国時代末には廃墟同然にまで衰退していましたが、仙台を藩都に定めた伊達政宗が復興に着手し、1609年(慶長14年)に完成させています。瑞巖寺見学は政宗が勸

⑬ ビスカイノとソテロ、瑞巖寺を見る

瑞巖寺を見る

政宗が石仏を破壊した？

破壊した？

瑞巖寺を見学したとき、宣教師のルイス・ソテロも一緒だったとビスカイノは書いています。イタリヤの歴史家アマティーの『伊達政宗遣使節記』は、ソテロの証言をもとに日本のことも書いてい

ますが、これにはビスカイノが一緒だったと書かれていません。のちに両者は仲違いしましたので、ソテロは行動を共にしたことを書きたくなかったのでしょう。

ソテロは支倉常長をヨーロッパに案内した人物ですが、彼は瑞巖寺のことを壮麗な装飾が施された、とても大きな寺院だと話しています。瑞巖寺をスペイン・カタルニアにあるモンセラート修道院やイタリヤのアンコーナにあるロレット聖母教会のような所だとも書いています。いずれも壮麗な修道院です。ビスカイノもソテロも瑞巖寺を見て、ヨーロッパで著名な修道院のことを思い浮かべたのでした。

このように瑞巖寺はヨーロッパ人が見ても感嘆するような寺院だったのですが、ソテロは私たちが驚くような彫刻や細工が知られる限り最もすばらしく、この世に、石のスコリアル、木の松島に並ぶものはないとまで賞賛しています。スコリアルというのはスペインにある修道院のことで、王宮としても使われていました。ヨーロッパの石造建築と日本の木造文化を対比し、瑞巖寺が最高級の価値をもつ寺院だと評価したのです。



瑞巖寺孔雀の間 (瑞巖寺HPより)



サンティアゴ・デ・コンポステーラ大聖堂 (wikipediaより)

投げ捨てられたというのです。石碑や石仏のことでしようか。政宗はソテロからキリスト教について説教を受け、釈迦や阿弥陀、弘法大師などを虚偽の教えをなすものとして

憎み、家臣たちがキリスト教徒になることを勧めたともあります。日本人が偶像崇拜しているものが仏像や石仏だから政宗は破壊を命じた、とソテロは言っているのです。しかも、命令を受けて仏像などを破壊したのが支倉常長だったというのですから、腰を抜かすほど驚いてしまいます。これは本当のことなのでしょうか。

じつは一部に真実が含まれていることが最近わかったのです。それが何かは次回に。



東北大学災害科学国際研究所の所長などを経て、平成26-31年度まで宮城学院女子大学学長を務めた。専門は日本近世史、歴史資料保全学。令和4年4月に、3代目のサン・ファン館館長に就任した。